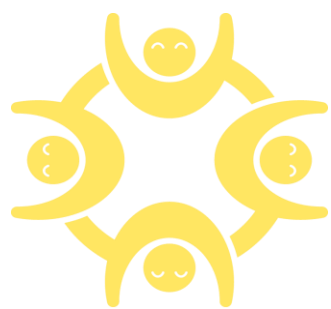


# 社会福祉法人かがやけ福祉会

## 2020年度事業報告（案） （令和2年度）

かがやけ福祉会 法人本部	2 頁
かがやけ共同作業所	10 頁
かがやけ第2共同作業所	13 頁
グループホーム	16 頁
相談支援センターかがやけ	18 頁



かがやけ

令和3年5月28日  
かがやけ福祉会

## 2020年度 法人本部事業報告

### I 理事会の開催

年4回開催した。

第1回理事会（通算120回） 2020年5月29日

- 第1号議案 2019年度事業報告
- 第2号議案 2019年度決算報告
- 第3号議案 監事監査報告
- 第4号議案 2020年第1回評議員会の開催

第2回理事会（通算121回） 2020年9月16日

報告事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策
- (2) グループホーム開設

第3回理事会（通算122回） 2020年12月16日

- 第1号議案 2020年度 第一次補正予算
- 第2号議案 かがやけ寮運営規程の改正
- 第3号議案 新型コロナウイルス感染症対応手当
- 第4号議案 監事監査報告

第4回理事会（通算123回） 2020年3月26日

- 第1号議案 2020年度 処遇改善手当
- 第2号議案 2020年度 第二次補正予算
- 第3号議案 エタンセール運営規程の改正
- 第4号議案 2021年度 事業計画
- 第5号議案 2021年度 職員体制及び団体への派遣
- 第6号議案 2021年度 処遇改善手当
- 第7号議案 2021年度 当初予算
- 第8号議案 次期評議員候補者の選任
- 第9号議案 次期評議員選任・解任委員会委員候補者の選任
- 第10号議案 文書保存規程の制定
- 第11号議案 役員等賠償責任保険の契約

### II 評議員会の開催

年2回開催した。

第1回評議員会（通算75回） 2020年6月22日

- (1) 第1号議案 2019年度 事業報告
- (2) 第2号議案 2019年度 決算報告

## 第2回評議員会（通算76回）2020年10月29日

### 報告事項

- (1) 理事長の職務執行状況報告
- (2) 常務理事の職務執行状況報告
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策

### Ⅲ 運営協議会の開催

新型コロナウイルス感染症予防のため、2月17日に書面開催した。

### Ⅳ 借入金の償還

かがやけ第2共同作業所建設借入金分として（2004年 5,250万円借入）  
（単位：円）

	元金	利息	合計	償還期日
第30回次	2,620,000	104,800	2,724,800	2020.5.10
第31回次		83,840	83,840	2020.11.10
合計	2,620,000	188,640	2,808,640	

残高 10,480,000円

最終償還日 2024年5月10日

### Ⅴ 事業の展開

- 1 第二種社会福祉事業障害福祉サービス事業の経営
  - ・ 生活介護 かがやけ共同作業所
  - ・ 就労継続支援B型 かがやけ第2共同作業所
  - ・ 相談支援事業 相談支援センターかがやけ
  - ・ 共同生活援助（介護サービス包括型事業所） かがやけ寮  
（ユニット：ブリエ（旧かがやけ寮）、リベルテ、ラヴァンス）
  - ・ 共同生活援助（介護サービス包括型事業所） エタンセール  
（ユニット：エタンセール、アルクアンシェル）
- 2 公益事業
  - ・ 葛飾区より在宅心身障害者緊急一時保護事業の受託

### Ⅵ 今年度の事業報告

#### 1. 経営・組織強化のために

##### (1) 理念の実現

2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、全体会の開催を行なえず、次の機会にもちこした。

職員一人一人に理念の4つの取り組みから、ひとつを選び、目標について記入してもらったが、具体的に活用できなかった。

## (2) 経営組織の確立と強化

新型コロナウイルス感染症の拡大で、利用者、保護者、職員が罹患するなど、その影響は運営に大きな影響を及ぼし、通所の閉鎖やグループホームの閉鎖・自粛を行なった。これまで経験したことない困難に直面し、苦しんだ1年であったが、みんなで乗り越えてきた。経営組織としては、利用者の命を守るため、感染予防対応についての確認や周知をし、行事の中止や縮小、会議、研修も感染予防対策として、オンラインの活用等、感染を広げないような取り組みをおこなってきた。

理事会として、次期評議員会の選任の準備をおこなってきた。また、新しく開設されるグループホームについて討議を行った。

管理者集団として、施設長、副施設長が新しく就任し、新体制になり、今後の世代交代の第1歩を歩みだした。

法人事務局会、管理職会議を定例開催し、法人の課題や事業所の課題について論議し、法人運営の進捗状況の把握、進行、充実に努めてきた。

文書保存規程を制定し、文書の保存整備を図った。

## (3) 5か年計画の推進

5か年計画に基づき、その進捗状況を事務局会、管理職会議で確認し、進めてきた。2021年度より、短期入所併設の介護サービス包括型共同生活援助を細田に開設していくことを決定した。

5か年計画については、2021年度が最終年度であるので、実績を評価検討し、更なる5か年計画を立てていく準備をしていく。

## (4) 財政計画

財政計画について、各事業所の大規模修繕、新規施設整備について、数字を明らかにしてきたが、実施についての評価検討、分析を行う時間を設ける事ができず、法人として論議が充分でなかった。

今後も様々な状況がおりうることを考え、財政計画について、経営組織で、十分に論議をしていく。

今年度、将来のために、施設整備費等積立金を951万円積み立てることができた。

2020年度決算で、福祉充実残額が生じたので、社会福祉充実計画を作成し、職員処遇改善事業に取り組むこととし、来年度以降計画を実施することとした。

補助金の活用を積極的に行った。

- ・かがやけ第2共同作業所 葛飾区福祉業務車両購入費補助金
- ・エタンセール エイジーフレンドリー補助金
- ・エタンセール 東京都障害者通所施設等整備補助事業  
(新ユニット開所予定のため)

## (5) 危機管理体制・災害対策

### ア 防災対策

かがやけ福祉会防災マニュアルに基づき、全職員が学習し、訓練等も実施していく予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施をみあわせた。事業継続計画づくりも着手できなかった。

今後、自然災害・地震に対応していくために、避難計画の見直しや訓練、更に福祉避難所としての役割をどう果していくか、区や地域との連携について、深く論議していく。

#### イ 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症が拡大し、利用者と職員の命を守る為、様々な対策を講じてきた。

全事業所に対する感染症予防対策の徹底、感染の広がりを抑えるための防護対策や、全職員対象にPCR検査の実施、感染リスクが高い利用者や職員への自宅待機の指示を行った。

基礎疾患を有する職員や高齢の職員の休業命令と休業補償、小学校・保育園が休業となった時の保護者である職員の休業補償、テレワーク等の取り組みを行った。

また、都の補助金を活用し、感染予防のために空気清浄機等を購入した。

しかし、次にあるように、利用者・職員に感染者が発生し、感染防止対策の徹底や情報共有等の面で、法人・事業所の組織としての課題が浮き彫りになった。このことを教訓とし、今後も続く新型コロナウイルス感染症に対する対策に取り組む。

#### ① 新型コロナウイルス発生状況

1 1月	かがやけ寮	入居者 2名	職員 1名
	ラヴァンス	入居者 1名	
	(全員	入院)	
1月	リベルテ	入居者 1名 (リベルテにて隔離)	
	職員 1名	(宿泊療養)	

#### ② 補助金の活用

- ・新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金 (国)
- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業 (東京都)
- ・新型コロナウイルス感染症に係る障害者サービス等事業者に対するサービス継続支援事業補助金 (国)

#### ③ 行政への要望

6月、葛飾区へ「新型コロナウイルス感染症にかかるグループホームに関する要望書」を原町成年寮と共に提出した。

#### (6) 虐待防止委員会の定例化と虐待防止研修の実施

事業所ごとに虐待防止委員による研修会を行ない、支援の充実をめざした。日頃の支援を振り返る良い機会になったが、継続して行うことができなかった。今後も権利擁護や虐待防止に対する学習を深め、支援の向上を図ってい

く。

(7) 内部監査の充実

法人内での内部監査（5月、11月）を実施するとともに、監事による中間監査（11月）を実施し、業務内容を見直す機会を設けた。

(8) 職員の働きやすい職場づくり

2020年度は、労働環境改善プロジェクトチームの会議を開くことが出来なかった。

引き続き、職員が安心して働き続ける職場めざし、職場の労働環境改善のための課題整理、課題解決のための方策を話し合う場を設ける。

労働組合との話し合いを継続した。

労働条件改善について次のことを行ってきた。

- ・引き続き、処遇改善加算1型、特定処遇改善加算1型の取得による賃金改善
- ・引き続き、若手職員の給与改善（基本給21万円未満の職員を対象に特別昇給）
- ・新型コロナウイルス感染症対応手当規程を新設し、感染の疑いのある者への支援、陽性者の支援、濃厚接触者への支援をした職員に対し手当を支給  
延べ22名 339,000円（内東京都補助 279,000円）

(9) 運営協議会、合同保護者会の充実

運営協議会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、2月17日に書面開催した。

合同保護者会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、開催しなかった。

(10) かがやけ福社会後援会との連携

担当理事をきめ、後援会事務局会議に参加することで、連携を図ってきた。

## 2. 事業と実践の展開

(1) 短期入所機能を備えた介護サービス包括型グループホームの新規創設とユニット増

賃貸による短期入所機能を備えた介護サービス包括型グループホームについて、オーナーさんから申し入れがあり、エタンセールユニットとして、2021年5月より開設した。

新築物件のため、設計の段階から法人としてかわり、車椅子を使用する身体障害者に配慮した物件を建ててもらい、借りることが出来た。

また、かがやけ寮において、オーナーさんの申し入れにより、入居者1名増にて、2021年の2月に、新しい建物に移転した。移転先は新築物件のため、設計の段階から法人としてかわり、入居する利用者に配慮した物件を借りる

ことが出来た。

(2) 利用者の高齢化、重度化に対応可能な日中活動とくらしの場の充実

PTによるリハビリ支援の時間や、一人一人のリハビリメニューを設け、実施してきた。グループホームと通所が連携し、本人の認知症への対応や保護者の高齢化への対応をしてきた。

かがやけ共同作業所、エタンセールにおいて医療的ケアを必要とする利用者を支援していくために、たん吸入研修を受講し、たん吸入実施の資格をとり、体制を整えてきた。

(3) 居宅介護事業所の開設を検討

具体的な検討をすることができなかった。

3. 人財の育成

(1) 人財確保

4月1日に正規職員2名採用（かがやけ共同作業所）

民間求人サイトによる職員募集に力を入れ、2021年4月1日採用予定の新規職員5名の採用を内定した。

(2) 人財育成

かがやけ福祉会の歴史、理念の継承のため、管理者の育成や次世代の人財育成に力を入れ、目的意識的な人財育成を進めてきた。

ア 職員ハンドブックの作成に取り組みます。

作成の準備をしてきたが、完成にはいたらなかった。引きつづき、作成に取り組んでいく。

イ 管理職職員の研修の確立をしていきます。

管理職として求められる管理業務能力や実践推進の力量をつけるため、テーマを決め、研修をおこなってきた。

第1回 障害者福祉サービスのしくみ

区障害者福祉のしおり活用

第2回 組織マネジメントと人財育成

サポーターズカレッジのweb視聴

第3回 財務諸表から考える法人経営講座

法人経営講座 東社協（講座ビデオ）視聴

ウ 資格取得支援規定を活用し、資格取得を促します。

資格取得支援規程を昨年度作成したが、2020年は、活用する職員がいなかった。

エ 研修システムに基づき、内容の充実を図り、職員の資質向上に努めます。

① 新人研修

- ・ 昨年に引き続き、チューターを配置したが実際機能することができなかった。
- ・ 法人研修担当者会主催の新規職員研修を実施した。
- ・ サポーターズカレッジを活用した新人研修の開催を実施した
- ・ 東京都社会福祉協議会主催の階層別研修を受講した。
- ・ 職場交換研修の実施は、取り組めなかった

② 実践充実のための研修

- ・ 外部講師による法人全体研修の実施  
2021年1月28日 オンライン研修  
「改めて権利条約について学ぶ」  
きょうされんオンライン 「講座2」 障害者権利条約を学び、いかす」講師赤松英和（きょうされん常務理事）
- ・ 実践報告会の実施  
2021年3月18日  
職員のレポート発表によるオンライン実践報告会  
「高齢期を迎えたなかまへの支援経過報告」  
就労支援報告 かがやけ第2共同作業所

③ 外部研修への派遣

- ・ 管理者研修への研修派遣  
2020年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、研修派遣は行わなかった。法人内の管理者会議の中で、管理者に向けての研修を行った。
- ・ 階層別研修への研修派遣  
各事業所報告参照
- ・ 専門研修への研修派遣  
各事業所報告参照

4. 地域への取り組み

(1) 広報活動の充実

ア ホームページの充実

ホームページの更新を適切な時期に実施した。

イ かがやけニュースの紙面の充実

かがやけニュースを、5月・7月・10月・1月の4回発行した。

(2) 地域における公益的な取り組み

きょうされん映画「夜明け前」と「星に語りて」の上映会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止した。

毎年、かがやけ第2共同作業所の屋上を地域に開放し、葛飾区花火大会の観賞会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、花火大会が中止となり、開催できなかった。



(3) 地域との諸団体との連携

法人主催の地域に向けた学習会の開催や防災についての情報交換や連携などは、取り組めなかった。

## 2020年度 かがやけ共同作業所事業報告

今年度は、年度当初利用者数は54名、8月に他事業所へ異動による退所者が1名、11月に他事業所から異動による入所者が1名おり、年度末利用者数は54名、年間平均利用率は85%（昨年度86%）であった。新型コロナウイルスに感染した利用者が11月に3名、1月末に1名発生し、11月は10日間、2月は4日間休所して濃厚接触者等の検査を実施した。4名とも軽症であったが、運動機能や記憶の低下が見られた方もいた、他の利用者でも休所や通所自粛により生活リズムが崩れ、欠席が増えるなど精神的に不安定になる方がいた。

新型コロナウイルス感染症予防のため、毎月の外出、一泊旅行、秋のなかままつりは中止とし、所内でレクリエーション等を行う所内活動を月1回実施、各班をリモートでつなぎ12月にクリスマス会、3月にお楽しみ会を行った。

生産活動（作業）でも、公共機関等への定期出店やイベント中止により販売活動が縮小されたが、自主製品の詰め合わせ（ハッピーセットやホワイトデーギフト）の企画販売を行い、売り上げの確保を図った。一昨年度から始めた羊毛フェルトによるバック等の売れ行きも順調で、利用者も意欲的に取り組んでいる姿が見えた。屋外作業の公園清掃については、利用者の高齢化により、夏季の除草作業は熱中症の危険があるため規模を縮小した。工賃は12月の賞与に加え3月に年度末手当を支給し、年間平均工賃は月額5,166円を支給した。

健康管理では、11月に所内でインフルエンザ予防接種を実施した、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のためマスクの着用や3密回避の効果か、インフルエンザに罹患する方はいなかった。現在看護職員が勤務する月曜日のみ通所している胃ろうの利用者が毎日通所できるように、たん吸引等の研修受講をすすめ5名が修了者となったので、来年度は支援員による医療的ケアの実施を目指す。

家族の高齢化により、サービス利用や通院同行等の支援が急増し、障害手帳や手当の申請、短期入所利用、車いすの作製、介護保険サービスの利用、通院同行や服薬管理等、多岐にわたる支援を実施した。

事故では、出庫時に作業所の柱と接触する事故が連続したため、出庫の方向を一定方向に決めたところ事故発生が防止できた。

修繕では、4階非常階段フェンスと空調機、ボイラーの更新工事を実施した。

### I 利用者状況 （2021年3月31日現在）

#### 1. 事業種別 定員

- ・事業種別 生活介護事業
- ・定員 55名

## 2. 各月利用者数

(単位：人・%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前月末	54	54	54	54	54	53
当月初	54	54	54	54	54	53
当月末	54	54	54	54	53	53
入所者	0	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	1	0
利用率(%)	86	87	90	87	88	87
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月末	53	53	54	54	54	54
当月初	53	53	54	54	54	54
当月末	53	54	54	54	54	54
入所者	0	1	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0
利用率(%)	88	83	80	78	82	85

- ・入所者 11月25日に他事業所から異動により1名入所
- ・退所者 8月28日に他事業所へ異動により1名退所
- ・年間平均利用率 85%

3. 男女別 男性30名 女性24名

4. 居住地別 葛飾区 51名 足立区 1名  
白井市 1名 松戸市 1名

5. 年齢別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	平均年齢
男	0	6	7	7	8	2	0	42歳
女	0	5	3	5	9	1	1	46歳
計	0	11	10	12	17	3	1	44歳
%	0	20	19	22	31	6	2	

6. 障害支援区分別

区分	人数
6	24
5	13
4	10
3	6
2	1
1	0
未判定	0
合計	54

※平均区分 5.0

7. 通所方法	送迎利用者	42名 (全7コース)
	家族送迎者	3名
	自主通所者	9名

## II 職員状況

### 1. 職員配置

1) 管理者	1名 (常勤1名)
2) サービス管理責任者	1名 (常勤1名)
3) 生活支援員	18名 (常勤16名、非常勤2名)
4) 看護職員	1名 (非常勤1名)
5) 栄養士	1名 (常勤1名)
6) 調理員	6名 (非常勤6名)
7) 事務員	1名 (常勤1名)
8) 運転職員	2名 (非常勤2名)

※兼務表記省略 2021年3月31日現在

### 2. 職員数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
常勤	20	20	20	20	20	20
非常勤	10	10	10	10	10	10
計	30	30	30	30	30	30
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤	20	20	20	20	20	20
非常勤	10	10	10	11	11	11
計	30	30	30	31	31	31

各月当初人数

## 2020年度 かがやけ第2共同作業所事業報告

今年度は葛飾特別支援学校より1名新規入所者を迎え54名の利用者が在籍、欠席の多い利用者も数名いる中、年間平均利用率は86.6%と若干の増加がみられた。

利用者支援では、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の自宅待機をはじめ喫茶休業、販売機会及び注文の減少がみられ、売上回復のため作業紹介チラシを地域に配布、創作クラブでの作品をプリントした手ぬぐいの販売、さらには消毒スプレーキャップの袋詰めなど新しいものに取り組んだ。また、利用者リーダー会を中心に話し合いを重ね、作業や売上の現状について説明すると同時に、年度末手当や目標達成パーティーが利用者の働き甲斐となるよう支援した。

調理班では、学童弁当で1日100食以上の注文をこなす一方で、歓送迎会やスポーツイベントの中止から大口注文が無くなった。10月以降巻き返しを図るため、ターゲットを夕食に当てた企画弁当(「セラブ弁当」「俺たちの弁当」「恵方巻」「ひなまつり弁当」「旅行に行った気分弁当」)を後期打ち出した。

お菓子班では、作業室の狭い環境を三密回避、及び希望と製菓への適正等勘案した上で4名の利用者に調理と受注へ班異動して頂く。喫茶のイートインを11月再開まで、外部販売の機会も無く、事前注文をとる形で支援学校や幼稚園からの注文を徐々にだが獲得した。後期、喫茶店はテイクアウト客を中心に1日10食程度の弁当注文数まで回復し、地域のイートイン利用客も戻りつつある。

受注班では、軽作業の内容が小学校教材ということもあり、前期の受託量が激減した。コロナ対策とともに部屋を3つに分け作業を固定したことで、利用者自身の1日の見通しが容易となり、準備や片付けがスムーズに取り組んでいた。

今年度の月平均工賃支給額は17,759円(前年度21,424円)であった。

一般就労者は無かったものの、昨年度までに就労された方々に電話連絡しコロナ禍での就労状況の聞き取りをした。また、区役所実習など実習機会が中止となり、事業所独自で「所内実習」を企画した。いつもの作業所とは環境を変えて、新宿コミュニティセンターを利用し本来の実習さながらの緊張感を持って取り組めるように支援した。

今年度は、コロナ対策も講じて昼休みを活用した、階段昇降運動、及び放送委員会をはじめた。また「にいじゅくまつり」や一泊旅行が中止となり、その代替としてハロウィンパーティーなどを開催し、外部のキッチンカーを呼ぶなど利用者主体となって企画・楽しめるように支援した。

その他、保護者会は年度内中止の中、2度役員の方々と懇談し作業所の状況等を説明した。防災訓練は、防災食を食べるなど防災意識向上に努めた。

I. 利用者状況 (2021年3月末現在)

1. 事業種別 定員

・事業種別 就労継続支援B型 ・定員 60名

2. 各月利用者数

(単位：人・%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前月末	53	54	54	54	54	54
当月初	54	54	54	54	54	54
当月末	54	54	54	54	54	54
新入所者	1	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0
利用率	87.6	94.3	92.5	83.4	85.3	87.3
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月末	54	54	54	54	54	54
当月初	54	54	54	54	54	54
当月末	54	54	54	54	54	54
新入所者	0	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0
利用率	85.1	84.6	89.4	81.6	83.7	84.5

年間平均利用率 86.6%

入所者：1名

退所者：0名

3. 男女別 男性 37名 女 17名

4. 居住地別 葛飾区 54名

5. 年齢別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計	平均年齢
男	1	5	18	4	7	2	37名	38歳6ヶ月
女	0	4	6	6	0	1	17名	37歳2ヶ月
計	1	9	24	10	7	3	54名	38歳3ヶ月
%	4	16	44	18	13	5	100	

6. 障害支援区分別

区分	人数
6	0
5	1
4	12
3	19
2	5
1	0
未判定	17
合計	54

7. 通所方法 自主通所 54名

II. 職員状況

1. 職員配置

- 1) 管理者 1名 (常勤1名)
- 2) サービス管理責任者 1名 (常勤1名)
- 3) 生活支援員 1名 (常勤1名)
- 4) 職業指導員 10名 (常勤6名・非常勤4名)
- 5) 目標工賃達成指導員 1名 (常勤1名)
- 6) 就労支援員 1名 (常勤1名)
- 7) 栄養士 1名 (常勤1名)
- 8) 調理員 1名 (非常勤1名)
- 9) 事務員 1名 (常勤1名)

2021年3月末現在

2. 職員数

各月当初人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
正職員	13	13	13	13	13	13
非常勤	5	5	5	5	5	5
計	18	18	18	18	18	18
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
正職員	13	13	13	13	13	13
非常勤	5	5	5	5	5	5
計	18	18	18	18	18	18

## 2020年度 グループホーム事業報告

今年度は、年度当初入居者25名で、4月中にラヴァンスの入居者1名が退居、その後8月に新しく1名が入居した。2月にかがやけ寮が移転し、移転と同時に定員が4名から5名となり、新しく1名が入居し、年度末のグループホームの入居者数は、26名となった。

新型コロナウイルスに感染した入居者・職員が、11月に入居者3名、職員1名、そして、1月に入居者1名、職員1名発生した。入院や自宅待機、ホーム待機を強いられることとなった。新型コロナウイルス感染症の予防のため、外出や行事を中止にせざる負えなく、全体的にはりのない単調な生活になりがちであったが、自室でできること等を模索しながら、生活が少しでも充実できるよう、支援した。

ホーム全体の入居者が高齢化してきており、機能の低下や意欲の減退がみられる。健康のために、地域の理学療法士の方の協力や訪問の機能訓練マッサージを取り入れるなど、機能低下を防ぐ取り組みを引き続き行った。

法人として、6か所目となるグループホーム（介護サービス包括型グループホーム）の2021年5月の開所に向け、準備を進めた。

エタンセールの外壁工事を実施した。

### 第1章 利用者状況

2021年3月31日現在

#### 1 定員と現員

(単位：人)

ケアホーム	ユニット	開設年月日	定員	現員		
				男性	女性	合計
かがやけ寮	かがやけ寮	H11. 12. 1	5	4	1	5
	リベルテ	H24. 4. 1	4	3	1	4
	ラヴァンス	H29. 6. 1	4	2	2	4
エタンセール	エタンセール	H14. 3. 1	7	4	3	7
	アルクアンシエル	H18. 5. 1	6	3	2	6

#### 2 入居者の状況（年齢の状況）

ユニット	20代	30代	40代	50代	60代	合計
かがやけ寮		1	1	2	1	5
リベルテ			1	3		4
ラヴァンス			1	3		4
エタンセール			5	1	1	7
アルクアンシエル		1	5			6
合計		2	13	9	2	26



### 3 入居者の状況（障害者支援区分の状況）

ユニット	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
かがやけ寮			4	1			5
リベルテ				2	2		4
ラヴァンス			3	1			4
エタンセール					1	6	7
アルクアンシエル				1	3	2	6
合 計			7	5	6	8	26

#### ※入居者の入退居

入居者の退居 1名	（ラヴァンス）	4月	
入居者の入居 1名	（ラヴァンス）	8月	
入居者の入居 1名	（かがやけ寮）	2月	（定員 1名増により）

## 第2章 職員状況

### 職員配置（2021年4月1日現在）

#### エタンセール

（1）管理者	1名（常勤）
（2）サービス管理責任者	1名（常勤）
（3）世話人	9名（常勤）
（4）生活支援員	14名（常勤2、非常勤12人）
（5）事務	2名（非常勤）
（6）看護師	1名（非常勤）

#### かがやけ寮

（1）管理者	1名（常勤）
（2）サービス管理責任者	1名（常勤）
（3）世話人	9名（常勤5、非常勤4）
（4）生活支援員	8名（非常勤8）

入居者一人一人が生活の主人公として、地域の中で生き生きと輝いて暮らせるようにしていく。

## 2020年度 相談支援センターかがやけ事業報告

2020年度は、かがやけ福祉会が運営している事業所の利用者及び地域において障害福祉サービス事業を利用している方へのサービス等利用計画の策定について、サービス等利用計画は、202件（内法人外108件）、モニタリングは、371件（内法人外186件）を進めてきた。

定期の利用計画の更新やモニタリング報告の他、家族の病気や介護力低下などによって、本人に新たなニーズが生じた場合には、必要に応じて計画案の内容変更（家事援助、短期入所、GH入居等）を行ってきた。特に、今年度は、モニタリング期間の変更で、居宅介護・短期入所・就労移行等を利用している利用者のモニタリング件数が約100件増加した。

相談支援専門員としての専門知識の習得や支援技術向上のため、今年度も積極的に研修（新型コロナウイルス感染症対応のため回数は減）に参加をしてきた。

葛飾区主催（身体・知的相談支援部会・分科会—サロン）の研修への参加および、企画委員として1名、相談支援専門員研修の運営に携わってきた。

### ◎事業種別

指定特定相談支援事業

### 第1章 利用者状況

1. 各月サービス等利用計画・モニタリング策定数（ ）法人外在宅者等・内数

	サービス等利 用計画	モニタリング	小計 (件)		サービス等利 用計画	モニタリング	小計 (件)
4月	10(3)	31(13)	41(16)	10月	19(6)	27(14)	46(20)
5月	16(10)	24(9)	40(19)	11月	9(6)	44(24)	53(30)
6月	23(11)	21(7)	44(18)	12月	8(4)	43(23)	51(27)
7月	13(4)	20(11)	33(15)	1月	16(10)	20(9)	36(19)
8月	16(9)	35(18)	51(27)	2月	22(13)	34(18)	56(31)
9月	27(16)	35(23)	62(39)	3月	23(16)	37(17)	60(33)
小計	105(53)	166(81)	271(134)	小計	97(55)	205(105)	302(160)
				合計	202(108)	371(186)	573(294)

## 第2章 職員状況

### 1. 職員配置

- |            |               |
|------------|---------------|
| 1) 管理者     | 1名（相談支援専門員兼務） |
| 2) 相談支援専門員 | 1名            |